

夏の終わり、小樽の空の下で二週間、
街と写真と人が織りなす写真展。
一緒に展示しませんか。

ベニヤ板、
パネル一枚
からOK!
サイズ・点数自由です

20年以上の
歴史を持つ
野外写真展

テーマ、経験
問いません!
あなたの表現、
発揮できます

小樽²⁰²³ 鉄道^{22nd} 写真展

Otaru Open-air Photo Exhibition
in Former Temiya Railway

2023/8/28(月)~9/10(日) 開催予定



『小樽・鉄道・写真展』(鉄道展)は、毎年夏の終わりに地元を始めとする写真愛好家・学生たちが集い、2000年から開催している野外写真展です。今年で22回目の開催を迎えます。

会場は1880年(明治13年)、内陸からの石炭を港へ運ぶことを目的に日本で3番目に建設された北海道最古の鉄道、手宮線の跡地。ここは「北海道遺産」「日本遺産」の構成エリアでもあります。

小樽の歴史を物語る空間に写真を持ち込んで、自ら展示の空間を作り出す、全国的にもユニークな写真展です。

この場所に溶け込み、あるいは刺激されて、あなたの写真はどんな「風景」になるのでしょうか。ぜひあなたの写真作品を出展しませんか。『鉄道展』では、あなたのご参加をお待ちしております！

期間は？

例年8月最終週の月曜日～9月第1週日曜日の二週間。

会場には夜間照明を設置し、会期中はいつでもご覧いただけます。

搬入は開始日の前の2日間、搬出は最終日夕方です。それぞれ原則としてご自身で行っていただきますが、遠隔地から出展されたい方はご相談ください。

場所は？

小樽駅と運河の間あたり、旧手宮線の遊歩道の一区間です。(「マリンホール」の裏手あたり) 遊歩道は観光客のみならず地元の方も通られる、小樽の街角らしさを感じることのできる場所の一つとして終日人通りがあります。

どんな作品があるの？

歴史的遺産である会場へのリスペクトから展覧会名に『鉄道』を冠していますが、展示作品にテーマは設けていません。全面的に出展者にお任せします。

風景、街、自然、人物、そして小樽…あなたが見せたい作品、自らの表現に正直で、真剣であることが唯一の条件です。

(野外の公共空間を借用しますので、公序良俗に反するものは出展できません)

小樽²⁰²³
鉄道^{22nd}
写真展

作品とパネルなどはどう用意したらいいの？

作品とともに、原則としてご自分で展示のためのパネルなどの用品をご用意ください。壁(一部除く)も天井もない会場ですので、作品は二週間の展示に耐えうるよう、雨風への対策を取ってください。ラミネート加工をされる方が多いですが、耐水性が期待できる他の方法も活用してください。(ラミネーターをお持ちでない方は、札幌ですと大通の「大丸藤井セントラル」地下などで加工してもらえます。また搬入日に会場でA3程度までなら出展者持込のラミネーターを利用できることがあります)なお、あえて加工せずに二週間での作品の変化を見せる方もおられます。この点も作品同様出展者にお任せします。

自立式のパネルの場合は、枕木にねじ込みや、ペグを使う、ポリタンクに水を入れて重石にするなどの固定が可能です。一部の沿線の柵、指定の倉庫の壁も利用できます。

作例やヒントは次のページでご紹介します！

出展費用はいくらかかるの？

今年より費用を改定させていただきます。どうかよろしくお願いたします。

照明設置を中心に本展の運営費用として、一般の方は**6,000円**、学生(大学・専門)は**3,000円**、高校生は**2,000円**(中学生以下の方は無料)をお願いしています。(一口以上分のご協賛も歓迎いたします)搬入の時までにお支払ください。

会場の常駐や当番はあるの？

常駐は行っていませんが、毎朝と夕方に照明の入切と会場確認を兼ねての当番を決めています。ご自分の作品がある会場に足を運ぶきっかけにもなりますので、ぜひご参加ください。

なお、作品の管理は出展者ご自身にてお願いしています。これまで作品の盗難や故意による破損の例はありませんが、万一の場合にもご自身での対応をお願いいたします。

(台風等荒天時にはお知らせしますので、必要な場合は可能な限りご自身で一時的にパネルを寝かせるなどの対応を取ってください。実行委員会で対応をさせていただきます)

見せ方のヒントに!

『鉄道展』展示方法あれこれヒント集

「参加したいけど、どんなふうにパネルを用意したらいいのだろう?」

これまでの『鉄道展』では、このような多彩な作品の展示例がありました。初めての方にも用意しやすい方法からユニークな方法まで、いくつかご紹介いたします。ぜひ参考にしてください!

(こういうのが作りたいんだけど……という相談がありましたらお寄せください)

三角パネル

一番オーソドックス、かつ作りやすく運びやすい。

ベニヤ板のほか、すのこも便利(写真の貼り方によっては影ができるので、裏に黒紙を入れたりするとよい)。2枚を頂点で蝶番でつないだり、同様に頂点にいくつか穴を開けてロープや結束バンドで結んでもいいでしょう。

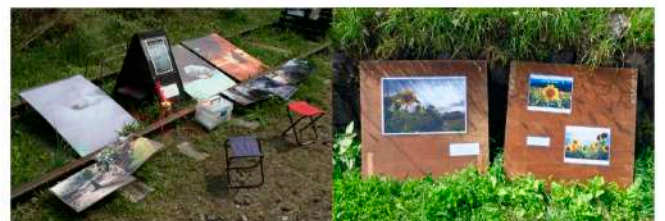
角材で脚を付けるのもおすすめ。ネジ止めがベターです。根元は枕木にネジ止めしたり、裏側に針金やロープを通してペグや重石につなぎましょう(太い杭は打たないでください)。



自立式パネル

大きな作品を展示したい方に。

三角パネルをそのまま大型化したり、4枚の板を箱のようにしてネジで直留め/L字金具でつなぐなどの方法もあります。



パネルを寝かせる／立てかける

パネルが一枚の場合などに。作品の大小に関わらず活かします。頭側をレールに載せたり、または裏に台を置いて少し立てたり。

山側の石垣に立てかけることもできます。

*展示ができない場所があります

- 舗装部分(レールや草の部分から遊歩道に大きくはみ出さないよう展示してください)
- 花壇(有志の方々が管理されています。入らないようご注意ください)
- 電柱
- 市が設置している案内板



柵を使う

沿線にある鉄柵に、パネルをくりつけたりできます。隙間からロープや結束バンドなどで柵に結びます(針金は使用しないでください)。すのこ、ワイヤーラックやプラダン、ガーデニングフェンスも使いやすいと思います。



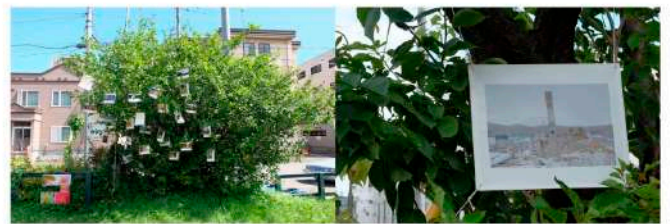
壁を使う *所有者の意向で変更になる場合があります
沿線の2箇所の倉庫の壁をご厚意で使わせていただいていますので、こちらにも展示できます。
向かって右側の壁は、両端の味のあるトタン板部分が使えます。ベニヤ板の部分は、今年は2019年以前に行っていた企画”テーマ『小樽』”を復活します。
左側の緑色のスチールの壁は、小さめの作品ならばネオジム磁石(丸い銀色で概ねボタン電池大のもの、”100均”で手に入ります)が付きます。粘着テープはできるだけ使わないよう、必要な場合は剥がし跡の残らないもの(”コマンドタブ”など)を使ってください。

『鉄道展』ならではのこんな展示もできます!



#フラッグ

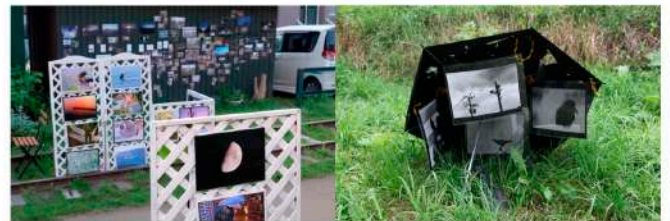
#木材(ぶどう棚)



#樹木に掲げる

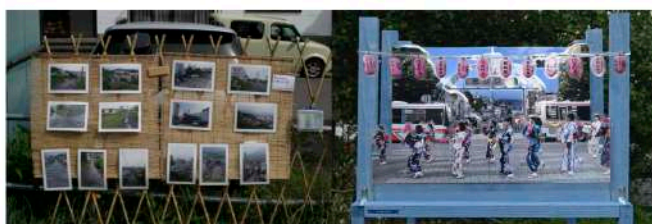
#木陰

野外展ならではのさまざまな展示方法を、「鉄道展」では自在にすることができます。
場所の個性の強さに負けない、そして何より作品自体を際立たせることのできるオリジナリティ溢れる見せ方に、ぜひチャレンジしてみませんか?
(展示方法などのご相談にもお答えします)



#ガーデニングフェンス

#傘



#すだれ

#立体写真



#線路上に展示

#物干し竿

2023年(第22回) 開催予定スケジュール

7/31(月) 出展申込締切

8/20(日)頃までに 出展位置決定

8/26(土)・27(日) 搬入 (11時頃~19時頃)

8/28(月)~9/10(日)17時 開催

9/10(日) 搬出 (17時~19時頃)

*スケジュールは変更する場合があります

お問い合わせ

出展のご希望やご質問など、事務局にお気軽にお問い合わせください。

<https://www.tetsuroten.org/contact/tetsuroten@tetsuroten.org>

(代表: 瓜生(うりゅう) 裕樹)

制作: 小樽・鉄道・写真展 実行委員会 この資料は2023年5月現在のものです

小樽²⁰²³
鉄道^{22nd}
写真展

Otaru Open-air Photo Exhibition
in Former Temiya Railway